

キャリアに拓く 4年生の活動

訪問先 海と大地の自然館・鳥取砂丘ビジターセンター・山陰海岸ジオパーク

鳥取大学附属小学校では、大学の学部や研究機関、地域の施設等と連携して学びの場をつくり、子供のキャリア形成を目指していく活動、「キャリアに拓く」を実施しています。4年生の活動の様子を紹介します。

「山陰海岸ジオパーク」を学びの対象とし、総合的な学習の時間と社会科の時間と連携しながら展開しました。その目的は、次の2つでした。

- ①ジオパークに関わり研究や啓発活動が続けられる方々の思いや姿から学ぶこと。
- ②地元が存在する土地や環境を調べることで、自分達の住む鳥取により関心を持ち、未来を想像しながら社会参画の感覚を育むこと。

そこで見学したのが、「山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館」と「鳥取砂丘ビジターセンター」でした。いずれも、鳥取大学とも関わりのある先生やガイドの方がおられ、研究を重ねておられる施設でした。

岩美町「山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館」

この施設は、世界ジオパークに認定されている山陰海岸ジオパークの魅力を人々へ伝え、人と自然の持続性の維持・向上などを啓発、研究しています。館内では、山陰海岸やジオパークの魅力を学ぶ3Dシアターを観て学び、地層や大地の変化、その中で生きる動物や植物などが分かる展示ルームを見学しながら先生の説明を聴きました。その中で、子供たちは、『山陰海岸ジオパーク』の中に、地球や大地の変化の様子分かる地形や生物、化石などが多く存在する」ことに驚き、「人の生活や営みは、大地の歴史、地形と生態、環境や特産など、全てにつながりがある」ことに気付きました。そして、こちらの施設で活動を進めておられる先生方のお話や思いなどについても学ぶことができました。

また、有名な「千貫松島」を見学し、その雄大で美しい景色を見て、大地の変容について知ることができました。

子供たちは目を輝かせながら、特徴や魅力など、次々に発見をし、理解し、驚きと学びの時間となりました。

鳥取市浜坂「鳥取砂丘ビジターセンター」

鳥取砂丘は「国立公園」に指定されており、山陰海岸ジオパークの有名スポットの1つです。また、「湖山砂丘」「福部砂丘」「浜坂砂丘」「末恒砂丘」の4つの砂丘を合わせたものが鳥取砂丘と呼ばれています。そして、浜坂砂丘内に位置する「鳥取砂丘ビジターセンター」は、そんな鳥取砂丘の魅力や秘密をシアターや実験機器、展示物、そしてガイドさんの説明などによって、鳥取県の人にも県外の人にも広めておられる施設です。

鳥取砂丘の成り立ち、風紋ができる仕組み、砂丘の変化の歴史、そこに住む生き物など、子供たちは、ガイドさんの説明や館内見学から次々に発見を積み重ねました。館内見学の後は少しの時間でしたが、「馬の背」まで移動し、壮大な景色を眺め、目で耳で肌で、砂丘を味わいました。遠足や休日の観光などでなじみが深い砂丘も、知識を得ることで、今までとはまた違う感じ方ができます。そして、普段の授業の中で学習を重ねて鳥取砂丘のことに詳しくなった子供たちも、改めて砂丘を見て感じ、専門家の方々のお話を聞くことで、さらに新しい学びや感覚を得て、追究を深めることができました。

「海と大地の自然館」の安藤先生は、「学ぶ前に自然や景色を見ると、皆が『きれい』・『美しい』と感じます。それが、学んだ後だとその感覚に『すごい』が加わり、感じ方が変化するのは。」と子供たちに伝えられました。子供たちはその通り、自分達の育ってきた鳥取と、研究や追究を深め続けておられる人々の姿から、「関心をもつこと」「学ぶこと」のおもしろさを感じました。

